

五年目の

東日本大震災復興支援

—charity concert—

2016
5/8 SUN

出演

ラ・ディヴィシオン・デル・スール 実践女子大学JAZZ部&OG
清瀬第四中学校Saxophone奏者 清瀬第四中学校アンサンブル
フラダンスグループ フィ・フラ・オ・ホオマイカイ
キッズダンスジュニア(予定) コスプレグループ(予定)

後援

実践女子大学・実践女子大学短期大学部 BIG BAND JAZZ部
東高OB会

場所/コミュニティプラザひまわり

開場/午後1:00 開演/午後2:00

終演/午後4:00予定

入場料 1,500円

(義援金も宜しくお願いします。)

義援金の募金箱を設置しております。
集められた義援金は清瀬市を通じて
日本赤十字社に寄付されます。

主催/清瀬コミュニティプラザひまわり

▶電車でお越しの場合 清瀬駅北口より志木駅南口行き(グリーンタウン経由)でグリーンタウン清戸から徒歩5分
▶駐車場について 駐車場完備 72台(うち5台は、車椅子ご利用の方専用)

清瀬市下清戸1-212-4 (旧都立清瀬東高等学校)
TEL 042-495-5100 FAX 042-495-5400

清瀬コミュニティプラザひまわり
WEBサイトQRコード→



平成28年4月14日
熊本大地震が発生して
しまいました。
一日も早い復興を願い
皆様の心からの義援金を
何卒宜しくお願いします。

東日本大震災から5年が経過しました。

毎年3月11日が近づくとあの日に起きた新たな情報が続々と報道されます。
日本の半分が崩壊していたかもしれないという事実。
映画のような最悪な出来事が現実に取りかかりました。

しかし年数が経つにつれ、自分も含め多くの人は
3月11日 2時47分の黙祷を終えると何事もないように日常に戻り、
その後に震災のことを顧みることは少なくなってきたのではないのでしょうか。
「日常を取り戻す」ということと「あの日を忘れない」ということは、
どこか相反することのように思います。
しかしそうであったとしても、望むべくは日常を取り戻すことなんです。

皆様は以前NHKスペシャルで紹介された岩手県大槌町に設置されてる
「風の電話」というのをご存知でしょうか？
その電話は線も何もつながっていません。
震災で亡くなった人に電話をかけ、人工的な線ではなく
風に乗せて想いを伝えるための電話ボックスです。
放送中TwitterなどSNSでも反響と共感を呼び、
多くの人々の心を打ちました。
正直僕がこの文章を告知に載せようと思ったのも
この風の電話の放送に心打たれたからです。

チャリティーのイベントとはなんでしょう？
募金を募って然るべき場所に納めることでしょか？
確かにそれもありますし、それしかないように思います。
ですがそれだけではなく
悲しい事実をみんなで一緒に受け止め、これから笑い合っていこうね、
という「意思表示」の意味合いがあるように僕は思います。

皆様の意思表示を風に乗せて届けることが
チャリティーだと考えてはいかがでしょうか。

是非みなさんで盛り上げて楽しい時間を過ごしてください。

告知制作担当・太田秀幸

